◆3月の主な行事◆
7・8日　県立全日制学力検査
9日　同窓会入会式
10日　卒業式
11日　県立全日制合格発表
22日　新入生オリエンテーション
24日　修了式　　31日　離任式

<教育目標>　自律　自啓　自尊　他尊

東雲

http://kanuma-school.ed.jp/j-higashi/

【発行者】
栃木県鹿沼市立東中学校
住所　鹿沼市府中町393
電話　0289-62-7225
FAX　0289-62-7226
校長　斎藤美智雄

安全安心な生活のため

十月に京都・奈良への修学旅行が無事実施できました。このまま終息するかのように思えた新型コロナウイルス感染症ですが、現在はオミクロン株に変わり、第５波を超える猛スピードで感染が拡大しています。

毎日のように、前日を超える感染者数の報告と医療体制の逼迫の様子や学校の休校などのニュースが報じられています。この状況は栃木県も例外ではなく深刻で、一月二七日～二月二〇日までの間、まん延防止等重点措置の適用地域となりました。

この様な状況下で、本校では三学期の始業式より『安心感のための緊張感』を合い言葉に、次の５項目を特に徹底し、教育活動を行っています。

○朝の健康観察で体調不良者の早期発見
○授業開始時の健康観察
○感染リスクの高い教育活動の停止
○こまめな換気・消毒
○休み時間のフィジカル・ディスタンス指導

日頃学校では、生徒の自己指導能力の育成を目指し教育活動を行っています。自分で危険を回避することもこのひとつです。

特別なことではなく、例えば、「この活動は感染リスクが高いかな？」「この空間は換気されているかな？」「この距離は？」と自分で判断し、行動することです。

新型コロナウイルス感染症拡大防止につきまして、御家庭の御理解と御協力をよろしくお願いします。　教頭

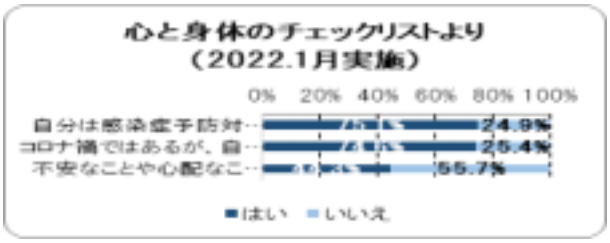
心と体のアンケート

コロナ禍において、子どもたちの不安に寄り添った対応をするために、定期的に「心と体のアンケート」を行っています。その一部を紹介します。

「感染症予防対策を意識して行動している」、「自分にできることを前向きに考えながら楽しく過ごしていきたい」という項目では全体の３／４が「はい」と答えています。一方で、「不安なことや心配なことは誰かに相談する」という項目では、「はい」と答えた生徒が全体の半数に満たないことが分かります。

まだまだ活動の制約が必要な状況が続き、以前の生活を取り戻すには時間がかかると思われます。学校では、教育相談や日録、必要に応じて子供たちの話を聴き、ＳＣやＳＳＷ、外部機関等とも連携し対応しています。

今後も、保護者、そして地域の皆様と共に子供たちの成長を見守っていきたいと思います。お気付きの点等ありましたら、遠慮なく学校へ御相談ください。　養護教諭



新入生保護者説明会

一月十九日、新型コロナウイルス感染に十分配慮して新入生保護者説明会を実施しました。

この会の目的は大きく二つです。一つ目は、東中学校の学校経営方針を丁寧に説明し、保護者の方に御理解をいただくこと。二つ目は、入学までの流れ、入学してからの学校生活を保護者の方に知っていただき、少しでも安心して入学を迎えられるようにすること。二つの目的を達成できるよう、現中学一年生の二人による学校生活をもとにした東中での学びの発表、校長・教頭・担当から学校教育目標・生活の様子・感染症対策等の説明を行いました。

今後は、新入生オリエンテーション（一日体験）を三月二二日に実施し、入学式を四月十一日に実施します。　教務主任

教育相談

部活動の休止や、感染症対策のため友人と十分に関われないなど、ストレスのはけ口が無く、不安定な生徒が多いと考えられます。この状況下で、生徒の不安が少しでも和らぎ、心の安定が図れるよう、これまでの教育相談に加え、きめ細かな対応のため、生徒と教師との意思疎通の場の日録「東雲」を使い、次の支援を行っています。

・心身の状態の変化や違和感、悩みや不安のある生徒の早期発見。
・気になる状況が見られたときには、個別の関わりをもつ。
・カウンセリングマインドで接する。

生徒が明るく充実した学校生活が送れるように、御家庭におきましても、何か気になることがありましたら気兼ねなく御連絡をお願いします。

教育相談係

卒業式について

今年度の卒業式は、三月十日(木)に実施を予定しています。新型コロナウイルス感染症対策として、参加者を制限しての実施となりますが御理解のほどよろしくお願いします。

卒業式は、生徒にとって中学校生活で最大の学校行事です。今年度の生徒たちにしかできない、感動の式を卒業生とともに創り上げたいと思います。

第三学年主任

立志式に向けて

2年生は、三月十五日の立志式・立志記念行事に向けて現在準備を進めています。

この1年間、生活を通して心と体を成長させ、3年生に向かう準備をしながら立志の時を迎えようとしています。立志作文や立志短冊の作成を通して自己を見つめ直し、将来の姿を思い描く生徒たちの姿は、とても頼もしく思えます。

立志式後、テーブルマナー教室をホテル東日本宇都宮で予定しています。社会との繋がりを意識し、大人として通用するマナーを身につけるための貴重な体験の機会としたいと思います。後期学級委員長や生徒会役員が実行委員となり、行事の運営に携わっていきますが、生徒各自が十分に関わり、自分の価値を改めて見つめ直せる日となるように支援したいと思います。第二学年主任

新しい制服

２０１６年、文部科学省より「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」が発表されました。これを受け、全国の学校教育現場では、制服、髪型、トイレなど、対応の幅を広げました。制服においては、男女兼用のブレザータイプの制服や女子制服にスラックスを導入する学校が増加しました。

本校でも、新しい時代の流れをくみ取り、「運動着」と「制服」を検討することとしました。

機能性、耐久性、安全性、多様性、価格等の観点から、生徒、保護者の意見を集め、昨年度は「運動着」を新しくしました。今年度は「制服」について検討し、令和四年度新入生から、新しい制服となります。

主な特徴として、

●ユニバーサルデザインの観点からの変更
○男子用、女子用の選択からⅠ型、Ⅱ型の選択
○男女共通のネクタイの採用
○女子体型にあわせたスラックスの導入
○スラックスとスカートの柄の統一
●機能性・安全性の観点からの変更
○ストレッチ素材の採用により、着用時のストレスの軽減
○袖口に反射素材を取り入れ安全性の向上

ジェンダーレスな新しい制服が、令和の東中のシンボルとなりますよう、御理解・御協力をお願いいたします。

教頭

二月は始まりの時

立春を過ぎると、暦の上では新しい年の始まりを迎えます。一月初旬から始まった私立高校の入学試験も予定通り行われ、進路が決まった3年生がいます。続いて、県立高校の特色選抜入試や特別支援学校青葉学園の入試が二月七・八日に行われ、十四日には内定者の発表が行われました。

今後の見通しとして、三月七日・八日に県立一般選抜入試が行われます。この入試では一回に限り、学校や学科の出願変更が認められています。最終的な倍率は二月末に発表される予定です。この入試後、定時制や通信制の高等学校の入試が行われます。

今年度の入試において、私立高校の受験同様、県立高校や特別支援学校でも、新型コロナウイルス感染症に対する救済措置が設けられました。今後とも、対策を十分にとって、予防に努め、万全の態勢で試験に臨んでほしいと思います。

一・二年生の三者懇談が行われ、私立高校の授業料無償化についてや広域制通信制高校について等の質問がありました。高等学校では、次年度からの学習指導要領の全面実施を受け、例えば家庭科の授業で、「投資」について学ぶなど履修内容も変化しています。お子様が、自分からニュースに耳を傾け、その内容が自分にどう関わってくるのかを、考える切っ掛けとして、御家庭での会話の中に、進路に関係しそうな話題を取り入れて頂けたらと思います。

二月は「始まりの時」未来に備えて、学力だけでなく、体力や情報も蓄えておくと良いと思います。

進路指導主事